



がん治療を受ける患者の看護に関する研究

保健福祉学部 看護学科

助教 中垣 和子（なかがき かずこ）

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 3407号室
Tel 0848-60-1175 Fax 0848-60-1175
E-mail nakagaki@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 成人看護学, がん看護学

キーワード： がん看護, 周手術期, 看護基礎教育

● 現在の研究について

○がん看護に関する研究

乳がん患者は、家事や子育てのほか、職業をもっていることも多く、加えて、介護経験に直面するなど社会的役割の多い年代にあります。また、医療システムの変化に伴い、治療の多くは外来通院で行われるようになってきました。このような状況のなかで乳がん患者は、手術療法や放射線療法、化学療法、ホルモン療法などさまざまな治療法の中から自ら治療を選択し、治療を継続していくことが求められています。

外来放射線治療を受ける乳がん患者の治療開始前の心の準備状況や治療中の気分の変化、また、外来化学療法を受ける乳がん患者の生活上の問題とその対応などを通して、治療の選択・継続を支える看護支援を検討しています。

○看護基礎教育に関する研究

看護職者には、より患者の視点に立った質の高い看護の提供が求められています。質の高い看護の提供のためには、的確な知識と看護技術に基づいた看護過程の展開が必要となります。しかし、看護基礎教育における看護技術に関しては、学生の看護技術の実践の範囲や機会が限定されている傾向にあり、臨地実習での看護技術の実践の難しさが課題となっています。

卒業時の看護技術能力の向上を目指して、学内の看護技術演習において、補助教材の開発を行っています。また、演習・実習等の学修成果を評価

し、教育内容・方法の充実を目指しています。

● 今後進めていきたい研究について

*がんと共生しながら自分らしい生活を続けることを支える看護に関する研究

*看護基礎教育における学修成果の評価に関する研究

● 地域・社会と連携して進めたい内容

がん治療を実施している施設と連携し、治療の選択・継続を支える看護支援プログラムを開発・評価していきたいと考えています。

● これまでの連携実績